

活動報告やパネル展

山

被災地の特産品販売も

岡

東日本大震災の被災地の様子を市民に知ってもらおう復興支援キャンペーンが20日、岡山市北区表町の岡山シンフォニービルで始まった。現地入りした団体の活動報告やパネル展、被災地域の物産展などが行われている。22日まで。

被災地で給水やごみ収集支援、避難所を巡回し健康相談などに当たった岡山市職員が取り組みを話した。21、22日には国際医療ボランティア・AMDA、

日赤県支部が報告する。パネル展は自衛隊による救援作業やボランティアの活動などを紹介している。

物産展は喜多方ラーメン（福島）、ずんだ煎餅（宮城）、盛岡冷麺（岩手）などが販売され、復興を後押ししようとする主婦らが買い求めていた。宮城の牛たんシチューを買い求めた岡山市北区西古松西町の国安洋子さん（70）は「被災地はひとときわ敵しい冬を迎えている。少しでも力になり

たい」と話していた。開催は午前10時〜午後4時。県内ご当地グルメの屋台なども設けられている。

岡山シンフォニービル創立20周年を記念し、同ビルを管理する表町第一開発ビル（086-225-6436）が企画した。

（斎藤英宗）

●本社HPに動画



被災地の特産品が並んだ物産展